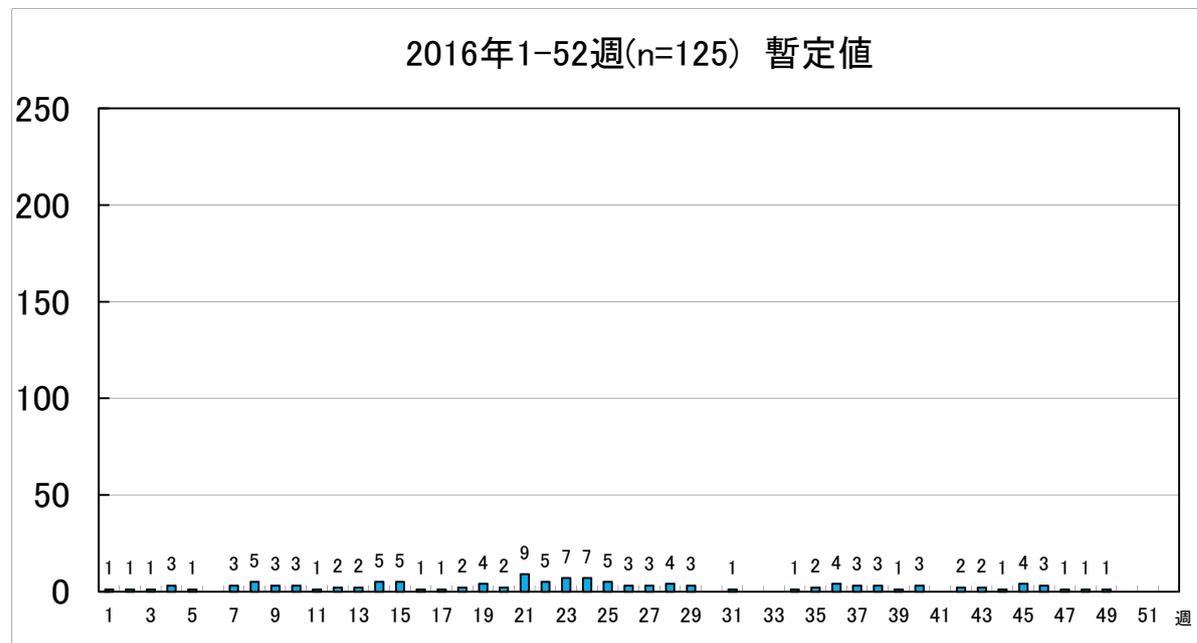
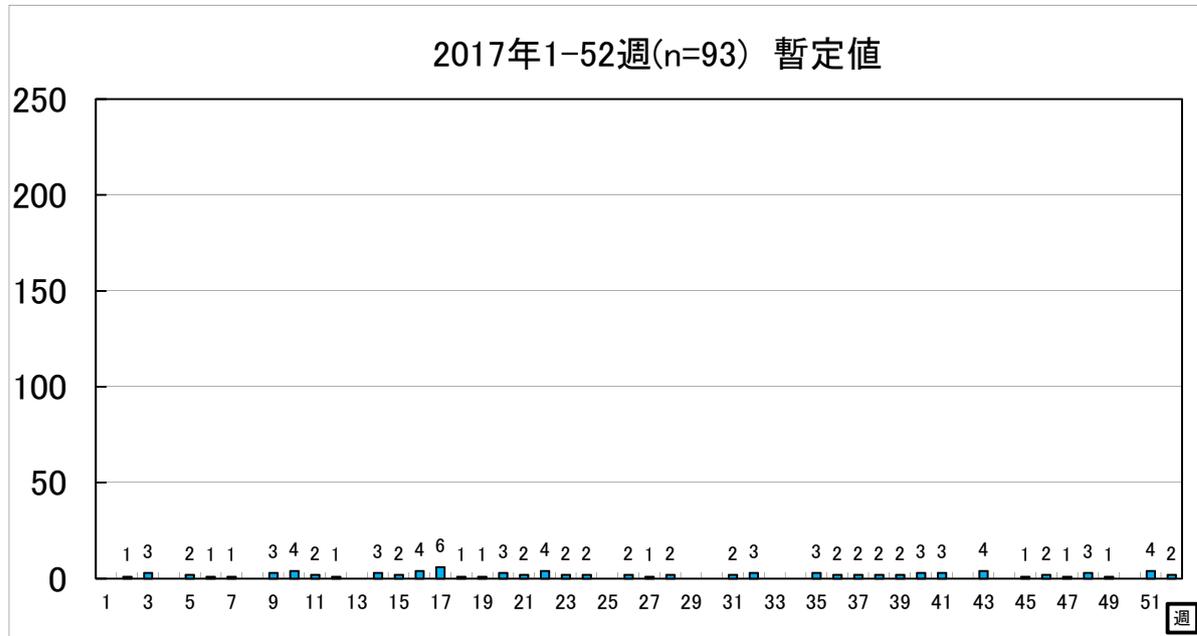
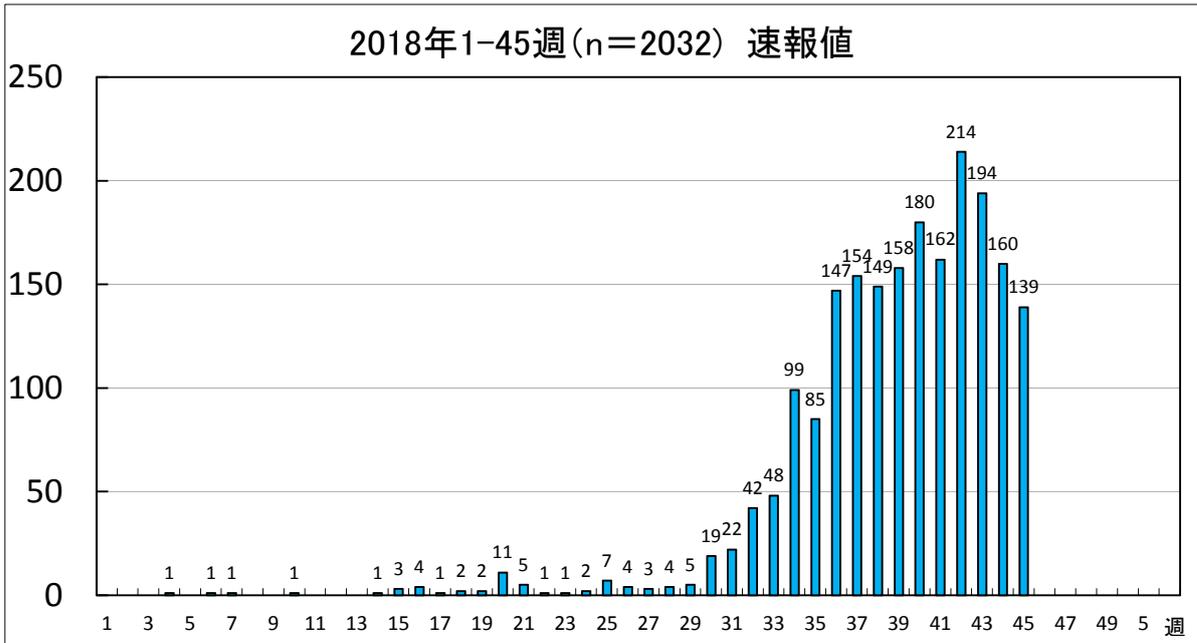
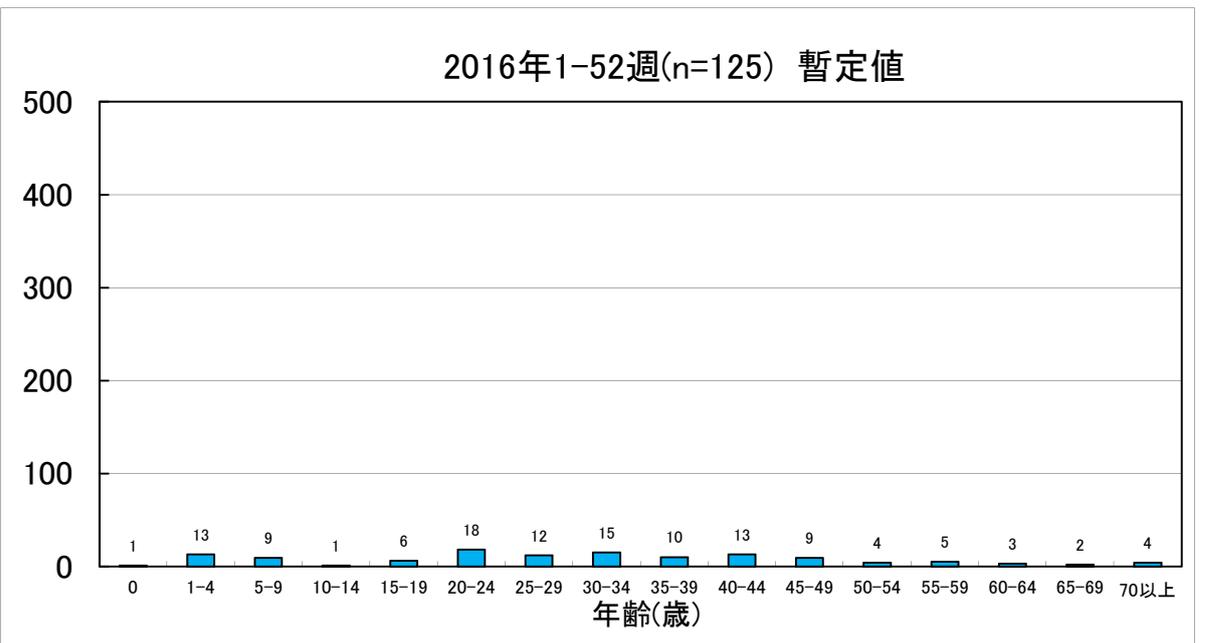
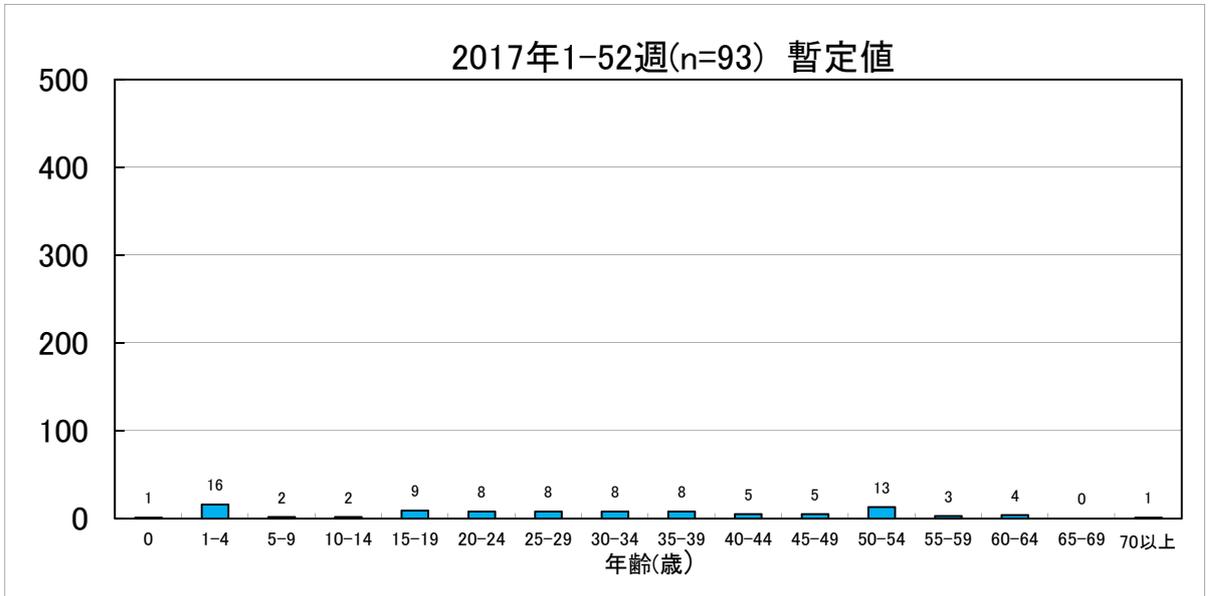
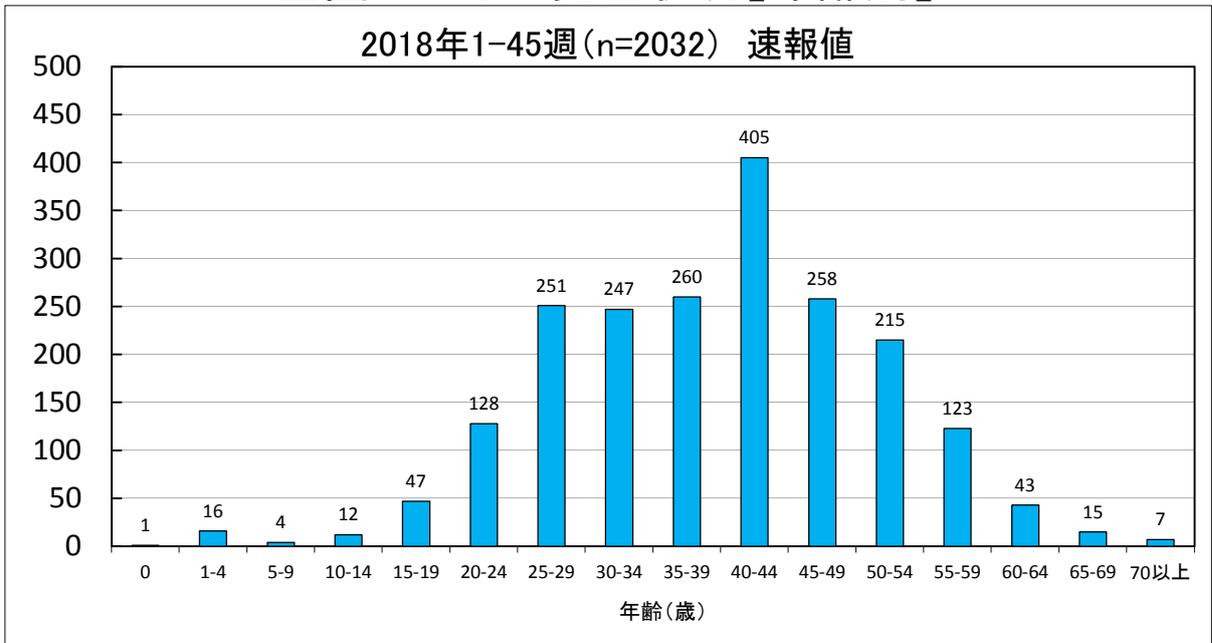


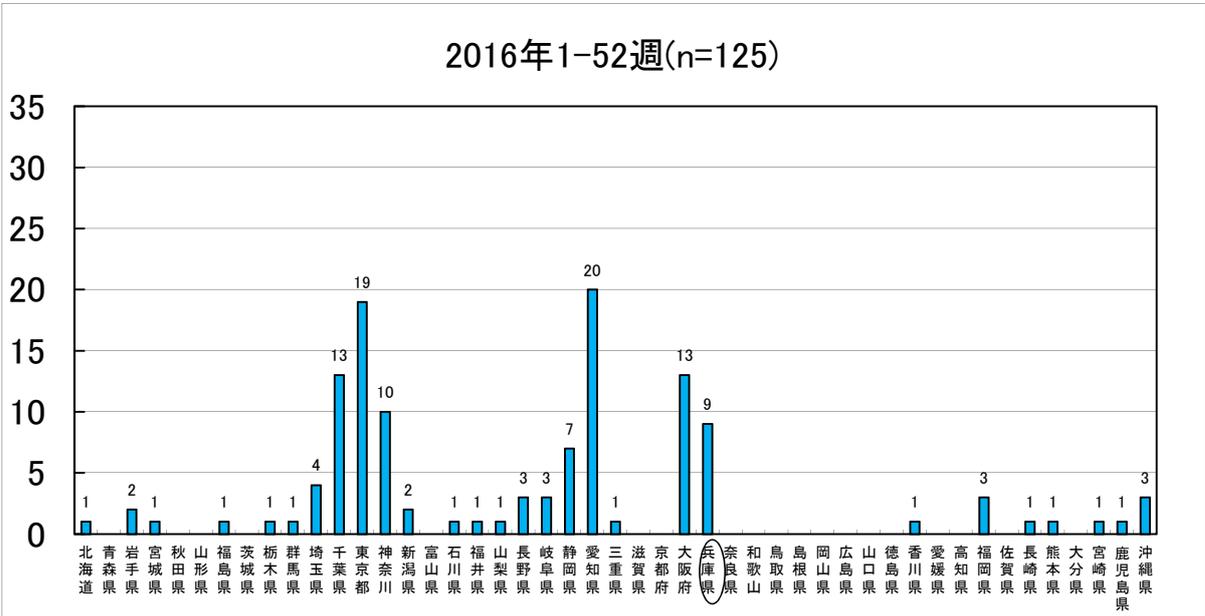
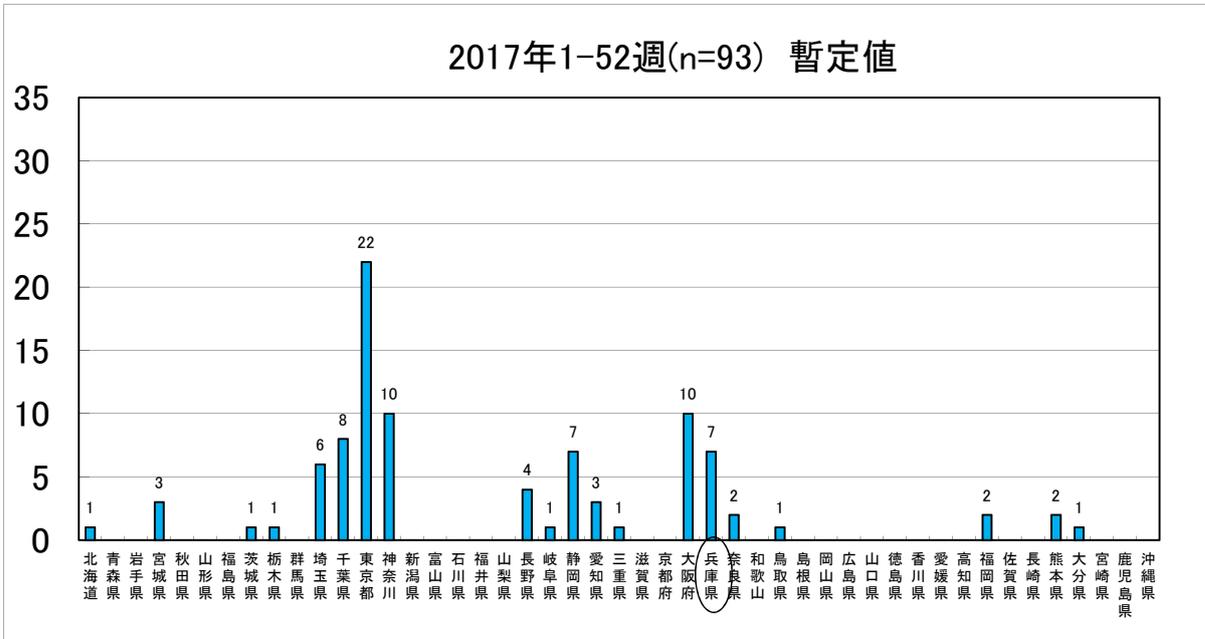
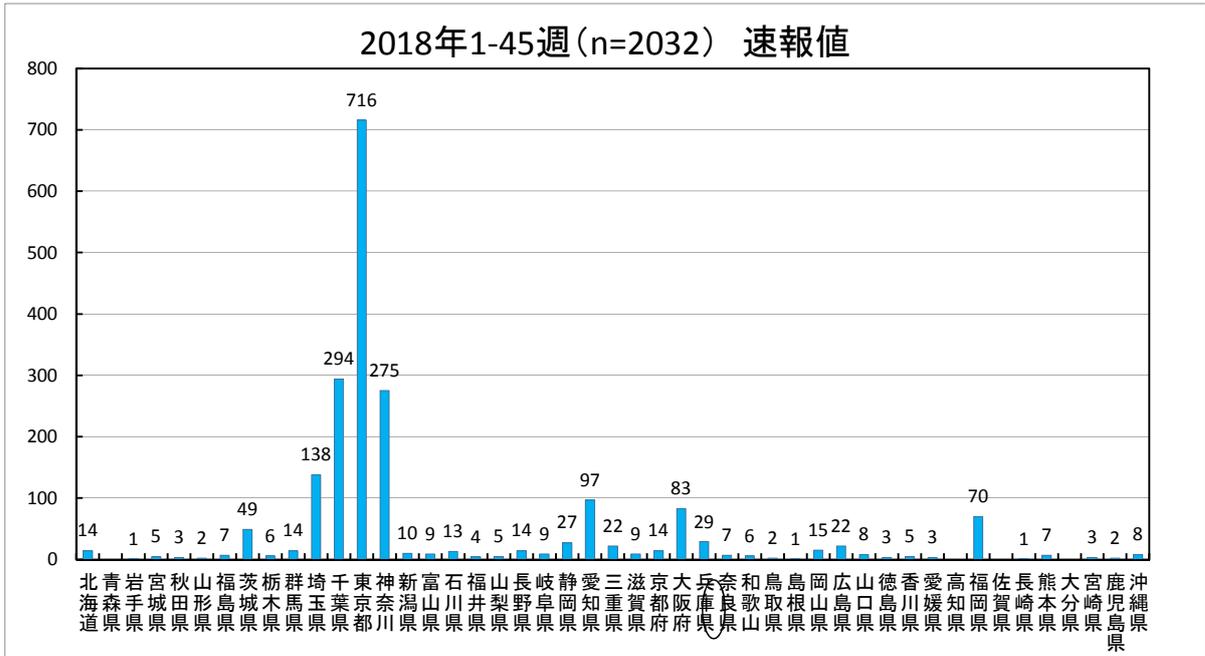
全国の風しん発生状況【週別】



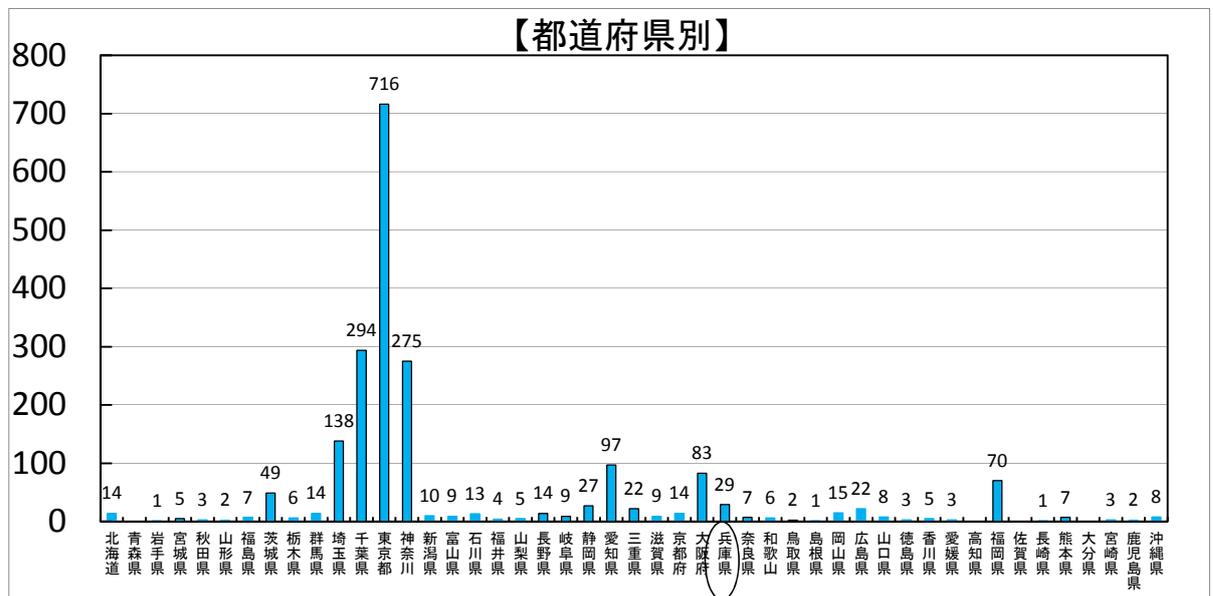
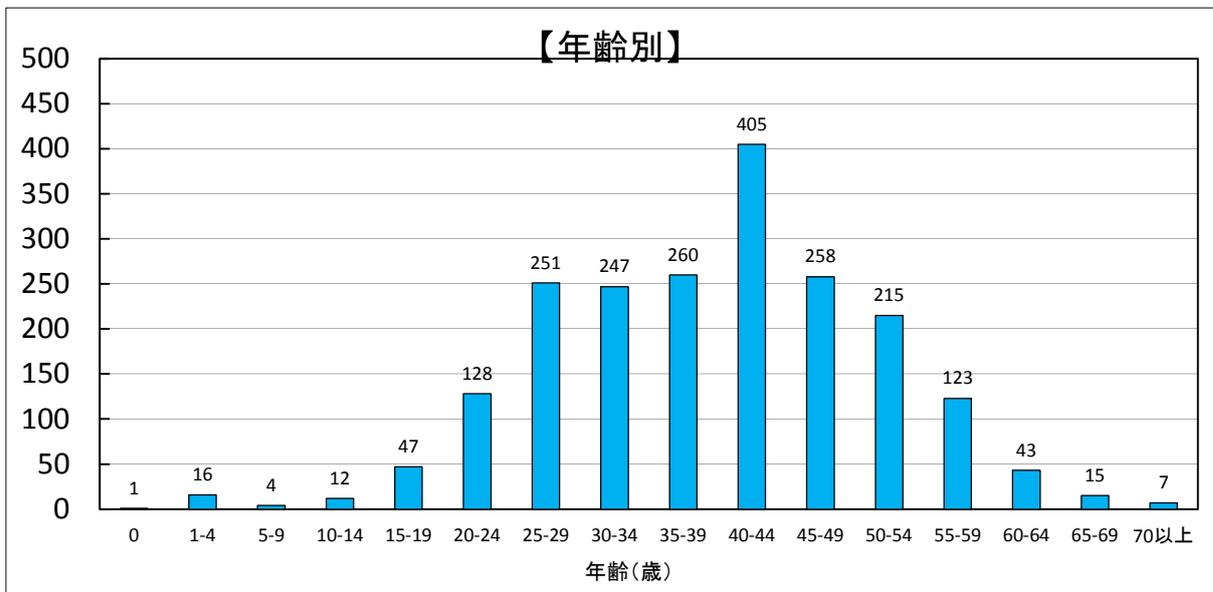
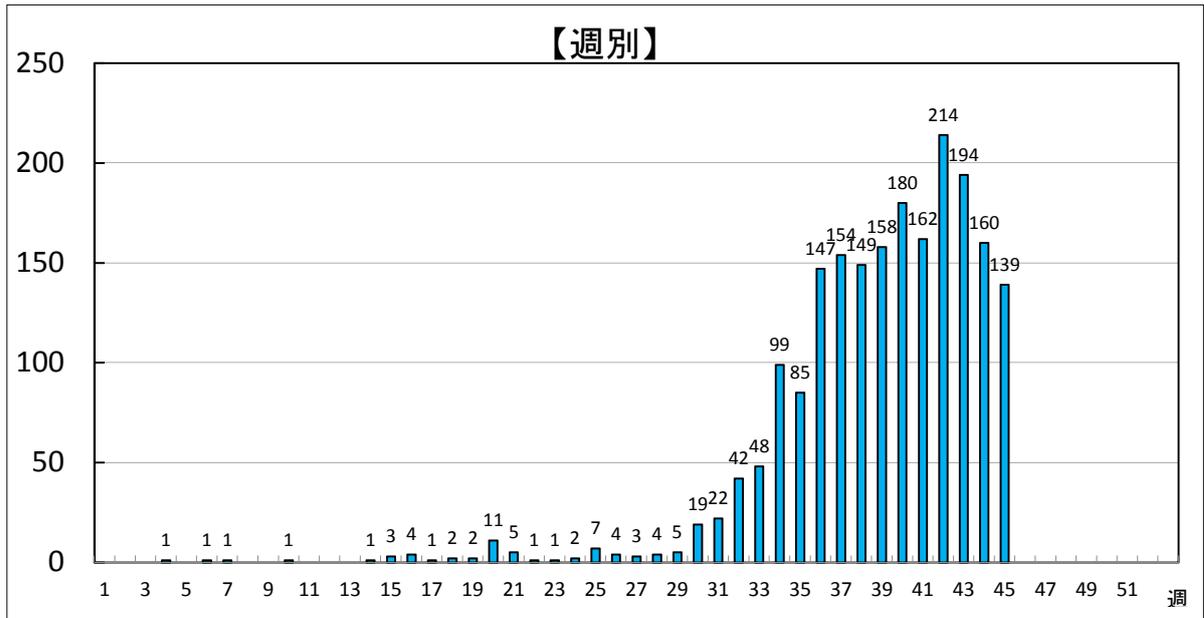
全国の風しん発生状況【年齢別】



全国の風しん発生状況【都道府県別】

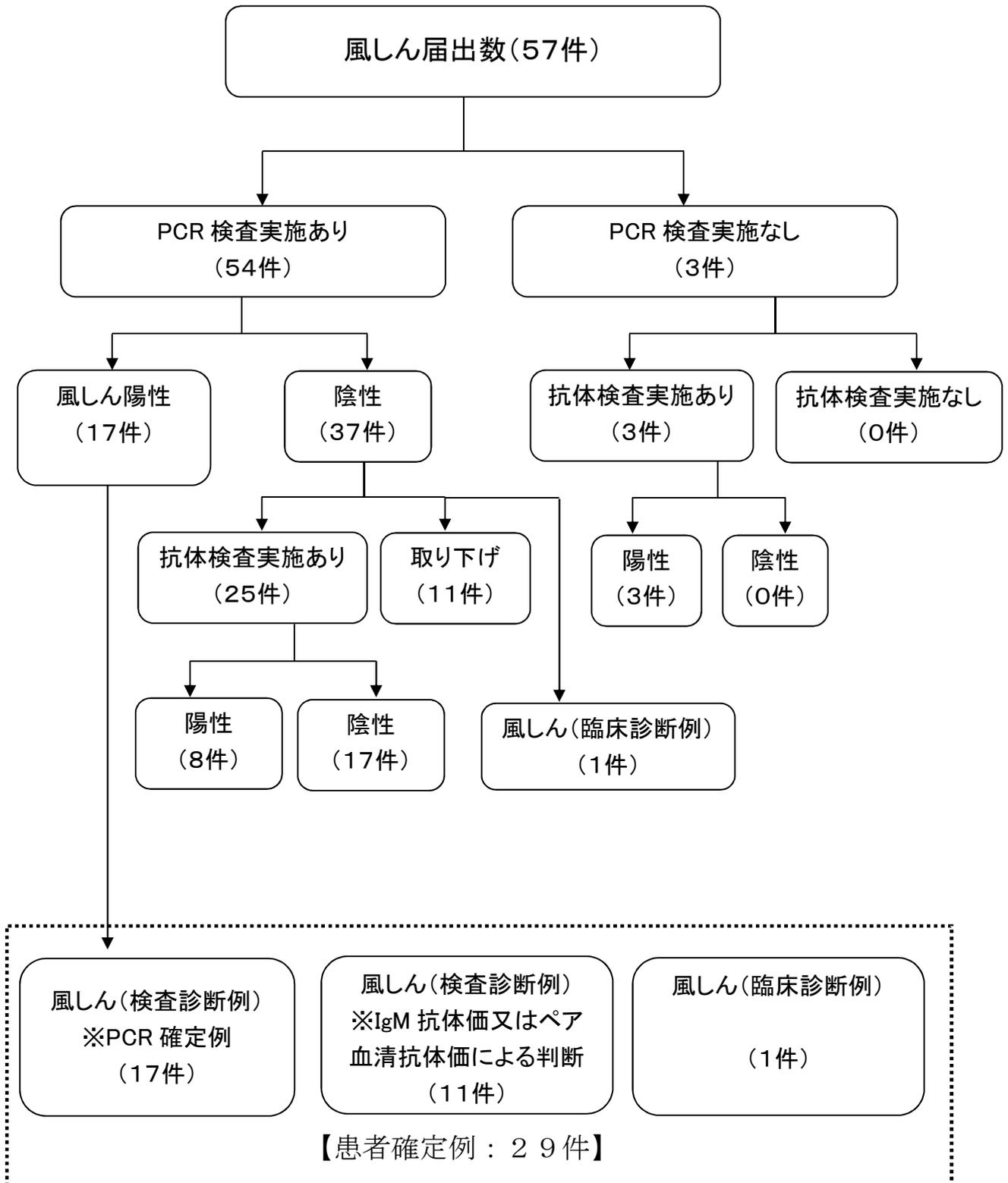


平成30年全国の風しん発生状況(1-45週(n=2032)) (速報値)



兵庫県における風しん届出状況

平成 30 年第 1～45 週 (11 月 11 日)



先天性風しん症候群(CRS)の報告(2014年10月8日現在)

先天性風しん症候群(CRS)の報告

1999年4月～2014年10月 n = 64

年	診断週	報告都道府県	感染地域※	性別	母親のワクチン接種歴	母親の妊娠中の風しん罹患歴
2000年	26週	大阪府		女	無	無
2001年	29週	宮崎県		女	不明	不明
2002年	50週	岡山県		男	不明	あり
2003年	20週	広島県		女	無	あり
2004年 (n=10)	9週	岡山県		女	不明	あり
	10週	東京都		女	不明	あり
	15週	岡山県		女	あり(母子手帳に記載)	無
	17週	東京都		男	無	あり
	24週	東京都		女	無	あり
	40週	鹿児島県		女	あり(記憶のみ)	無
	40週	神奈川県		男	あり(記憶のみ)	無
	41週	熊本県		男	無	あり
	47週	長野県		女	不明	あり
	52週	大分県		女	無	不明
2005年 (n=2)	41週	大阪府	インド	男	不明	あり
	50週	愛知県		女	不明	あり
2009年 (n=2)	36週	長野県	フィリピン	男	無	あり
	52週	愛知県	愛知県	男	あり(詳細不明)	あり
2011年	22週	群馬県	ベトナム	女	無	あり
2012年 (n=4) ※※	42週	兵庫県	兵庫県	女	無	あり
	46週	香川県	香川県	男	無	あり
	47週	兵庫県	兵庫県	女	不明	不明
	50週	埼玉県	埼玉県	男	無	あり
2013年 (n=32)	2週	大阪府	大阪府	男	無	あり
	10週	愛知県	愛知県	女	無	あり
	12週	東京都	東京都	男	無	あり
	16週	神奈川県	神奈川県	男	無	あり
	16週	愛知県	愛知県	男	不明	無
	23週	東京都	神奈川県	女	不明	不明
	25週	東京都	東京都	男	不明	あり
	27週	千葉県	千葉県	男	不明	あり
	30週	東京都	埼玉県	男	不明	あり
	32週	東京都	東京都	女	無	あり
	32週	東京都	東京都	男	無	あり
	34週	東京都	東京都	男	あり(平成4年:MMR)	無
	34週	東京都	神奈川県	女	無	不明
	37週	大阪府	大阪府	女	不明	あり
	39週	埼玉県	埼玉県	男	不明	不明
	40週	大阪府	大阪府	女	無	あり
	41週	東京都	東京都	女	不明	あり
	43週	東京都	東京都	男	不明	あり
	43週	東京都	東京都	女	無	あり
	44週	埼玉県	埼玉県	女	あり(年不明:種類不明)	あり
	44週	三重県	大阪府	男	無	あり
	44週	大阪府	大阪府	男	不明	あり
	45週	和歌山県	和歌山県	男	あり(平成12年:風疹単抗原)	不明
	45週	大阪府	大阪府	女	不明	あり
	45週	東京都	不明	女	あり(平成21年:種類不明)	不明
	48週	神奈川県	神奈川県	女	無	あり
	49週	和歌山県	和歌山県	男	あり(平成19年:風疹単抗原)	不明
	49週	三重県	三重県	女	あり(平成10年:風疹単抗原)	無
	49週	東京都	東京都	男	不明	あり
	51週	栃木県	埼玉県	男	不明	不明
	52週	神奈川県	神奈川県	女	不明	あり
	52週	埼玉県	埼玉県	男	不明	あり
2014年 (n=9)	2週	福島県	福島県	男	無	あり
	2週	東京都	東京都	女	不明	あり
	2週	島根県	島根県	女	不明	無
	2週	兵庫県	兵庫県	男	不明	不明
	3週	東京都	神奈川県	男	不明	あり
	7週	大阪府	大阪府	女	あり(平成元年:MMR)	あり
8週	東京都	東京都	女	あり(13歳:風疹単抗原)	あり	
12週	新潟県	千葉県	男	あり(平成3年:MMR)	不明	
40週	千葉県	千葉県	男	無	あり	



1999年(4月～)、2006～2008年、2010年は報告なし
 ※2006年から『感染地域』が報告対象とされました。
 ※※2012年のうち診断週49週の報告例は取り下げられました。